

富士紀行（68） 小山（御山）から世界へ！

（H13/5/14 記）

今、私の手元に須走の有志住民による「須走夢作り会議」の昨年度の活動報告書がある。その中の地図を見、街並み探検の記録を見て、私が「須走の名所」として、既に紹介した（富士紀行5号及び9号で紹介済み）以外にも、興味をそそる場所が紹介されていた。

- ① 小鳥の音楽堂跡
 - ② 一位の木や一本櫓
 - ③ 馬頭観音
 - ④ ちょうちん坂
 - ⑤ 滝不動観音、不動の滝（かつて富士講信者が登山前に潔斎したと言われているところ。）
 - ⑥ 水車小屋跡
 - ⑦ 鴨飛来地
 - ⑧ 発電所跡
 - ⑩ 北原白秋ゆかりの地
- いずれ機会を見て探検し、紹介したい。

さて、小山町は静岡県の新総合計画の中で、「富士山麓研究産業集積ゾーン」に指定されている。この集積ゾーンは、「東富士リサーチパーク」をはじめ、「富士小山わさび平」「ハイテクパーク富士小山」を包含しており、それぞれ開発が進んでいる。小山町内への研修・研究施設の建設は昭和41年の三菱地所東富士山荘を嚆矢とし、爾来、町の積極的な誘致機運もあって、逐次に進出してきた。

東富士リサーチパークは小山町須走地区から北郷地区にかけて150ヘクタールの地域であり、経団連ゲストハウス、銀行、保険・証券会社、電気、製薬、石油等の21の企業の研修・研究施設等が展開している。須走に二店あるコンビニエンスストアの東富士ゲストハウスも所在している。138号線から分岐した町道「須走・一色線」沿いに殆どが配置され、一部が、須走の下原から小山に向かう町道「上野・大御神線」（富士霊園に向かう町道）に配置されている。当地を開発している三菱地所の資料によると現在は、第4期販売を実施中である。

日本人の魂の原点・故郷とも言うべき富士山を日夜仰ぎつつ、クヌギやナラなどの自然林に囲まれ、四季折々変化に富んだ表情を見せる地に於いて、日常の勤務から開放されての研修は素晴らしい成果を挙げることだろうし、研究も格段に進展しよう。緑豊かな大地と富士山の霊気が凝縮しているからこそ、99%の汗に裏打ちされた1%のインスピレーションが閃く筈だ。この地から、世界をリードする技術や人類の未来を明るくするような素晴らしい発明が為される日もそう遠くないだろう。また、各企業のリードオフマンが巣立つことを期待したい。

50年近い前、富士学校がこの地に創設されたのも同じ理由からだ。広大な演習場が利用出来るというのも大きな理由ではあるが、都会の喧噪から超然とし、あらゆる誘惑の及ばない地、常に日本人たるの心を感じさせ、凝縮せる霊気を一身に受け得る地に於いてこそ新生陸上自衛隊の主導職種の幹部は養成されるべきであるとの思いが学校創設に携わっ

た人達に強かったのだろう。（かかる意味においては、自衛隊の各学校創設地の選定には色々な思いが込められている。）